

平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 白鳥弘之
 四半期報告書提出予定日 平成24年4月13日 配当支払開始予定日 平成24年5月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 大

TEL 054-281-5238

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	7,457	4.6	352	△24.1	324	△24.5	199	△3.9
23年8月期第2四半期	7,132	0.1	464	5.2	429	0.3	207	8.3

(注) 包括利益 24年8月期第2四半期 205百万円 (△0.7%) 23年8月期第2四半期 207百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	16.73	—
23年8月期第2四半期	17.41	17.41

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告9号 平成22年6月30日)を適用しております。

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	17,424	5,544	31.8
23年8月期	17,939	5,457	30.4

(参考) 自己資本 24年8月期第2四半期 一百万円 23年8月期 5,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	—	50.00	—	100.00	150.00
24年8月期	—	5.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社では平成23年9月1日付で、1株を10株とする株式分割を行っております。23年8月期は、分割前の発行済株式に対するものであり、24年8月期は、分割後の発行済株式に対する予定であります。

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	15,000	2.4	900	△12.2	850	△14.7	500	2.0	41.94

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(株) 1株当たりの当期純利益は、発行済株式数11,919,981株により算出しております。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年8月期2Q	12,189,720 株	23年8月期	12,189,720 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	269,739 株	23年8月期	269,690 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年8月期2Q	11,919,998 株	23年8月期2Q	11,915,530 株

第1四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、23年8月期の期末発行済株式数及び期末自己株式数、23年8月期2Qの期中平均株式数を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、平成23年9月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。
・本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業務等は様々な要因により大きくなる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年9月1日～平成24年2月29日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから、復旧・復興を受け、持ち直しの動きが広まってきました。一方で、欧州債務危機を背景とした金融不安、為替や株価の変動など、先行きの不透明感は高まっております。

当社が属する健康食品業界は、消費者の健康維持・増進、アンチエイジング意識の高さから今後も堅調に推移すると予想されます。

このような状況の中、AFC-HDアムスライフグループは、新工場稼働に伴い、当社主力事業であるOEM部門において大口受注件数が増加するなど堅調に推移いたしました。また、AFCブランドの強化として、販売子会社3社合併のほか、広告宣伝、店舗の拡充に注力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結売上高は、7,457百万円(前年同期比4.6%増)となりました。損益面については、新工場稼働に伴い減価償却費などの固定費が増加した影響により、営業利益352百万円(前年同期比24.1%減)、経常利益324百万円(前年同期比24.5%減)、四半期純利益は、前年同期比3.9%減の199百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社の主力事業であるOEM部門は、既存取引先の受注伸長などにより、売上高は前年同期比32.3%増となりました。受注状況は依然、市場ニーズに一致した関節・アイケア・伝統食材・ダイエット関連商材などが好調を維持しており、新規顧客獲得、営業の人材育成も順調に進捗いたしました。一方生産部門においては、新工場の稼働によってキャパシティ不足も解消へ向かっており、取引先の要求に応えるべき体制が整いました。同時に健康補助食品GMP取得を申請し、現在審査中です。既にハード、ソフト面の査察を終了し、今期中には認可される見通しです。

・海外部門

長引く円高、放射能汚染による風評被害や輸入規制、高額な関税など非常に厳しい環境下、キャンペーンなどの販促活動や放射能対策証明書の取得などに注力いたしました。また、タイにおいて代理店契約を締結するなど積極的な営業活動に取り組みました。当部門全体としては、引き続きコラーゲンを中心とした美容素材が好調に推移し、売上高は前年同期比16.6%増となりました。

・通信販売部門

広告宣伝活動により新規顧客件数は前年同期比102.0%と引き続き増加傾向にあり、リピート率向上を目的とした販促ツール導入の成果も現れ始めております。しかしながら、消費マインドの低下、同業他社との顧客獲得競争が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

・卸販売部門

主要取引先となる小売店業界は、ネット販売の浸透により特に価格競争において非常に厳しい状況が続いております。そのような環境下、当部門は化粧品関連商品の拡販に努め、中でも人気商品である「爽快柑シリーズ」が各小売店で売上を伸ばすなど順調に推移いたしました。しかしながら、雑貨卸における主力商品の大幅な落ち込み、市場における消費低迷が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

・店舗販売部門

百貨店テナント店舗を拠点とする当部門は、百貨店業界の低迷が影響し、売上高は前年同期を下回る結果となりました。しかしながら、試飲やセミナー開催などの積極的な販促活動により、飲料「野菜の極」、健康食品「La Vie PLACENTA」の売れ行きは好調を保ちました。AFCブランド商品への移行も順調に進捗し、売上シェアも増加しております。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高6,648百万円(前年同期比6.4%増)(セグメント間内部売上高含む)、営業利益547百万円(前年同期比16.3%減)(配賦不能営業費用控除前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効果効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。また、一般用医薬品事業についても、リニューアル製品の投入、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。特にドラッグストアの商品担当者に対して、当該製品の医療現場での臨床例などを中心に情報提供活動を展開してきました。

しかし、両事業とも同業他社との競争激化に加え、販売促進活動の不振が響き、医薬品事業の売上高は808百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益27百万円（前年同期比21.8%減）となりました。

今後は上記の取り組みに加え、医療用医薬品事業については、初の自社ブランドの後発医薬品を、また、一般用医薬品事業については取り扱い品目を大幅に投入するなどし、売上アップを図ります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、8,057百万円となりました。この減少要因は主として、商品及び製品が97百万円、仕掛品が81百万円、原材料及び貯蔵品が65百万円増加した反面、受取手形及び売掛金が244百万円、流動資産のその他が196百万円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ322百万円減少し、9,366百万円となりました。この減少要因は主として、減価償却などにより有形固定資産が284百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ486百万円増加し、7,081百万円となりました。この増加要因は主として、流動負債のその他が245百万円、未払法人税等が90百万円、支払手形及び買掛金が76百万円減少した反面、短期借入金が879百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,088百万円減少し、4,798百万円となりました。この減少要因は主として、長期借入金が949百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ86百万円増加し、5,544百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が80百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5百万円増加し、3,377百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は523百万円（前年同期比285百万円の収入増）となりました。

これは主として、たな卸資産の増加額244百万円、法人税等の支払額213百万円等により資金が減少した反面、減価償却費326百万円、税金等調整前四半期純利益322百万円、売上債権の減少額242百万円等により資金が増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は280百万円（前年同期比288百万円の支出減）となりました。

これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出304百万円等により資金が減少したものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は238百万円（前年同期は867百万円の収入）となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出134百万円、配当金の支払額118百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月14日発表の平成24年8月期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1 株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1 四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第9号 平成22年6月30日)を適用しております。

第1 四半期連結会計期間において株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,697,563	3,750,592
受取手形及び売掛金	2,227,489	1,983,073
有価証券	57,440	—
商品及び製品	810,816	908,543
仕掛品	474,207	555,671
原材料及び貯蔵品	599,064	664,140
その他	443,964	247,248
貸倒引当金	△60,780	△51,921
流動資産合計	8,249,765	8,057,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,708,947	3,569,212
土地	3,785,709	3,785,709
その他（純額）	1,433,905	1,289,449
有形固定資産合計	8,928,562	8,644,371
無形固定資産		
のれん	107,513	65,573
その他	46,265	62,541
無形固定資産合計	153,778	128,115
投資その他の資産		
その他	622,347	609,630
貸倒引当金	△15,082	△15,305
投資その他の資産合計	607,264	594,324
固定資産合計	9,689,606	9,366,811
資産合計	17,939,371	17,424,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,727,490	1,650,630
短期借入金	3,425,407	4,304,623
未払法人税等	222,876	132,821
賞与引当金	125,100	151,200
ポイント引当金	58,000	52,000
その他	1,035,266	789,782
流動負債合計	6,594,140	7,081,057
固定負債		
社債	650,000	600,000
長期借入金	3,820,012	2,870,816
役員退職慰労引当金	329,205	332,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
退職給付引当金	138,903	152,752
負ののれん	21,168	5,351
その他	928,090	837,520
固定負債合計	5,887,380	4,798,744
負債合計	12,481,520	11,879,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,482,684
利益剰余金	2,829,224	2,909,464
自己株式	△198,929	△198,961
株主資本合計	5,518,477	5,598,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60,626	△54,329
その他の包括利益累計額合計	△60,626	△54,329
純資産合計	5,457,851	5,544,357
負債純資産合計	17,939,371	17,424,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
売上高	7,132,425	7,457,247
売上原価	4,450,239	5,036,015
売上総利益	2,682,186	2,421,231
販売費及び一般管理費	2,217,998	2,068,758
営業利益	464,188	352,473
営業外収益		
受取利息	226	215
受取配当金	11,468	1,793
負ののれん償却額	18,924	15,817
助成金収入	10,499	10,434
貸倒引当金戻入額	—	6,413
その他	8,193	12,419
営業外収益合計	49,312	47,094
営業外費用		
支払利息	41,032	72,251
シンジケートローン手数料	41,785	—
その他	1,570	3,247
営業外費用合計	84,388	75,498
経常利益	429,112	324,069
特別利益		
固定資産売却益	291	—
有価証券償還益	—	1,730
特別利益合計	291	1,730
特別損失		
固定資産除却損	205	3,071
特別損失合計	205	3,071
税金等調整前四半期純利益	429,198	322,728
法人税、住民税及び事業税	223,706	123,257
法人税等調整額	△1,980	30
法人税等合計	221,726	123,287
少数株主損益調整前四半期純利益	207,471	199,440
四半期純利益	207,471	199,440

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	207,471	199,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	6,297
その他の包括利益合計	△184	6,297
四半期包括利益	207,287	205,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,287	205,738
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	429,198	322,728
減価償却費	156,862	326,505
のれん償却額	23,015	26,122
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,300	26,100
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,839	3,098
受取利息及び受取配当金	△11,695	△2,009
支払利息	41,032	72,251
有価証券償還損益(△は益)	—	△1,730
固定資産売却損益(△は益)	△291	—
固定資産除却損	205	3,071
売上債権の増減額(△は増加)	46,398	242,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,739	△244,267
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,666	△76,859
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,002	51,425
その他	12,221	29,757
小計	633,680	778,794
利息及び配当金の受取額	11,712	1,982
利息の支払額	△32,325	△40,346
法人税等の支払額	△367,783	△213,765
その他	△7,500	△3,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,784	523,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	57,440
有形及び無形固定資産の取得による支出	△320,656	△304,674
有形及び無形固定資産の売却による収入	11,996	—
投資有価証券の取得による支出	△199,914	△35
貸付金の回収による収入	1,229	1,405
その他	△61,016	△34,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568,361	△280,349
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△187,840	64,800
長期借入れによる収入	1,300,000	—
長期借入金の返済による支出	△134,780	△134,780
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△59,469	△118,275
その他	△50,000	△50,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	867,910	△238,286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	537,332	5,029
現金及び現金同等物の期首残高	2,582,573	3,372,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,119,906	3,377,592

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,250,600	881,825	7,132,425
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,250,600	881,825	7,132,425
セグメント利益	654,218	35,539	689,757

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	689,757
全社費用(注)	△225,569
四半期連結損益計算書の営業利益	464,188

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,648,942	808,304	7,457,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,648,942	808,304	7,457,247
セグメント利益	547,563	27,799	575,362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	575,362
全社費用(注)	△222,889
四半期連結損益計算書の営業利益	352,473

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。